



眞野和久 議員

市民の声を聞き使いやすいバスに

質問

昨年9月の時刻表改正について、バス停のルート表示や庁舎循環バスコースは評価できる。しかし、検討委員会で「改正は失敗であった」という声も出ているように、施設への到着時間が遅くなったことで利用が減るなどが大きな問題だった。

佐織コースを一日4回へともどに戻せないか。

佐屋コースも、福祉センターの利用で「午前中に帰れない」、「立田の福原へ回る前におろしてほしい」といった声も出ている。

また、庁舎循環コースが、各地域のコースとの乗り継ぎの時間が合わず、一日がかりになってしまう。改善を求める。

総務部長

福原を回るコースにおいては、時刻に影響のないよう、ルートの中で西條北のバス停を新たに設けた。

委員会は、運転手の声をよく聞いた中で検討しようという意見で進んでいる。

質問

バスの利用者の意見をつかむとともに、広く市民に利用

の要望を聞くべきではないか。アンケートなどの調査をやり、その上でルートや時間の改善を行うべきではないか。

総務部長

運転手の声を把握し、検討委員会で議論を深めていきたい。アンケートについては、議論を踏まえた中で慎重に判断したい。

質問

早朝や夕方の方の時間で通勤・

通学者に向けた対応を。

総務部長

通勤・通学者それぞれの方が利用手段を確保すべきという考え。

利用しやすいケーブルテレビに

質問

昨年9月にも、弥富市では月額525円で行う計画を紹介し、加入しやすい利用料を求めるべきだと質問したが、その結果は。

企画部長

利用料金の改正について質問をうけ、市も、料金体系の見直しを幾度となく要望してきたことも一つのきっかけと

とらえている。

月額735円の一番安価なコースが出された。他の海部地域も同一料金体系とすると聞いている。

質問

ケーブルテレビ網をしっかりと活用するため、情報提供の具体化は。

「あいさいチャンネル」の設置を検討しているのか。

企画部長

ケーブルテレビのコミュニティチャンネルを有効に活用し、市の行政情報を市民の皆さんに視聴してもらおうことが基盤整備によってできた。

「あいさいチャンネル」は、経費などの問題もあり、他の自治体との共同運営も一つの考えだ。

